

美声のディーヴァと、稀代の大型テノール。
クラシック新時代を担う二人の俊英による注目の競演！

小林沙羅 & 西村 悟

デュオ・リサイタル

～「母の日」に贈る歌の花束～

●主な演奏予定曲 ※順不同/☆=小林沙羅(ソプラノ) ★=西村悟(テノール)

ヴェルディ:歌劇「椿姫」より「乾杯の歌」☆★ レハール:喜歌劇「メリー・ウィドウ」より「唇は語らずとも」☆★

バーンスタイン:ミュージカル「ウエスト・サイド・ストーリー」より「トゥナイト」☆★

レハール:喜歌劇「微笑みの国」より「私たちの心にだれかが恋を沈めたのか」☆★

ドニゼッティ:歌劇「愛の妙薬」より

「ひとことだけ、おおアディーナ!」☆★ “人知れぬ涙”★ “受け取って、貴方は自由よ”☆

R.シュトラウス:献呈☆ ほか

※都合により、曲目等内容が一部変更される場合があります。予めご了承ください。(正式な曲目は当日発表の予定ですが、事前に決定した場合は otonowa ウェブ・サイト等で発表いたします。)

Sara Kobayashi (Soprano) & Satoshi Nishimura (Tenor) Duo Recital for Mother's Day 2019

2019. **5/12** (日) 2:00PM (1:15PM開場) 京都コンサートホール 大ホール

Sunday Afternoon, May 12, 2019, at 2:00, Kyoto Concert Hall ©京都市左京区下鴨半木町1-26/地下鉄烏丸線「北山」駅下車、③・①出口から徒歩約5分

入場料金 ¥4,500 (全席指定/税込) ※未就学児童の同伴・入場はお断りします ©2018.12/15(土) 10:00AM発売

●京都コンサートホール 075-711-3231

●ローソンチケット 0570-00-0407 [Lコード:54437]

●イープラス <http://eplus.jp/otonowa/>

●ロームシアター京都 075-746-3201

●otonowa 075-252-8255 ※電話予約のみ/郵便振替口座:00960-8-322727 加入者名:オトノワ

●チケットぴあ 0570-02-9999 [Pコード:133-636]

●CNプレイガイド 0570-08-9990

●高島屋京都店7Fチケットショップ ※店頭販売のみ

共催:京都コンサートホール(公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団)/京都市 協賛: 村山造酢株式会社

主催/お問合せ:otonowa 075-252-8255 [10:00AM-6:30PM/日曜・祝日休み 土曜不定休]



ピアノ:河原忠之

otonowa

www.otonowa.co.jp

小林沙羅&西村 悟 デュオ・リサイタル ～「母の日」に贈る歌の花束～

Sara Kobayashi (Soprano) & Satoshi Nishimura (Tenor) Duo Recital for Mother's Day 2019



2019年、「母の日」に捧げる歌の贈り物。

伸びやかな美声と情感豊かな表現力を携えたソプラノ歌手、小林沙羅。
海外での活躍も目覚ましく、着実なキャリアの積み重ねと、
近年第一子の誕生により「母」となった事で人間的にも成長を遂げた彼女の歌唱は、
オペラ界でもひととき輝く存在として注目を集めています。
一方、稀代の大型テノールとして期待される西村悟。
恵まれた肺から発せられる清々しい歌声はその容姿も相まって多くのファンを獲得、
海外での研鑽を経て内外で評価をますます高めつつあります。
そんな二人に寄り添い、共に美しいハーモニーを紡ぎ出すのが、
声楽家から絶大な信頼を得るピアニスト河原忠之。
新時代を牽引するフレッシュな二人による注目の競演、
オペラ・アリアを始め、美しい名歌の数々をデュオ、またソロでお楽しみください。

小林沙羅(ソプラノ) Sara Kobayashi, Soprano



東京藝術大学及び同大学院修了。
2010年度野村財団奨学生、2011年度文化庁新進芸術家在外研修員。2014年度ロームミュージックファンデーション奨学生。2010～15年ウィーンとローマにて研鑽を積む。2006年「バステアンとバステイエンヌ」でデビュー後、東京芸術劇場「トゥーランドット」リユー、兵庫県立芸術文化センター「こもり」アデーレ/「魔弾の射手」エンヒェン、新国立劇場「パルジファル」花の乙女等に出演。2012年ブルガリア国立歌劇場「ジャンニ・スキッキ」ラウレッタで欧州デビュー、海外へも活動の幅を広げる。2015年野田秀樹演出、井上道義指揮「フィガロの結婚」にスザンナ役で出演し好評を博す。2017年「カルメン」ミカエラで藤原歌劇団に初出演を果たした。2018年には兵庫県立芸術文化センター「魔弾の射手」エンヒェン役で出演。2019年には全国共同制作オペラ「ドン・ジョバンニ」にも出演。また多くのオーケストラとも共演を重ね、2019年7月には京都市交響楽団とモーツァルト/レクイエムで共演予定。2016年秋セカンドCD「この世でいちばん優しい歌」をリリース。2017年第27回出光音楽賞受賞。大阪芸術大学准教授。日本声楽アカデミー会員。藤原歌劇団団員。オフィシャル・ホームページ <http://sarakobayashi.com>

西村 悟(テノール) Satoshi Nishimura, Tenor



日本大学芸術学部、東京藝術大学大学院修了。
イタリア声楽コンクール・ミラノで大賞、リッカルド・ザンドナーイ国際声楽コンクール第2位及び審査委員長特別賞、日本音楽コンクール第1位。
2013年大野和士指揮水戸室内管弦楽団とプリティン「ノクターン」、2014年山田和樹&スイス・ロマン管とメンデルスゾーン「讃歌」を共演の他、佐渡裕&ケルン放響「第九」、インキネン指揮日本フィル「大地の歌」、小林研一郎&名古屋フィルとヴェルディ「レクイエム」、高関健&東京シティ・フィル「ファウストの劫罰」、山田和樹マーラーシリーズの第8番等で共演。
2016年には大野和士指揮バルセロナ響にて欧州デビュー。
オペラでは「ラ・トラヴィアータ」「蝶々夫人」「仮面舞踏会」「ルチア」「ラインの黄金」「魔笛」に出演。
五島記念文化賞オペラ新人賞受賞。出光音楽賞受賞。藤原歌劇団団員。



河原忠之(ピアノ) Tadayuki Kawahara, Pianist

日本を代表する歌手やソリストがその共演者に挙って指名する人気ピアニストで、幅広い音色、繊細な音楽表現には定評がある。サイトウキネンフェスティバル等でコレペティトゥールを務める一方、2017年は紀尾井ホールで2015年に日本初演したベルゴレージ「オリンピアード」の再演、いずみホールでドニゼッティ「愛の妙薬」を指揮するなど、オペラやコンサートの指揮者・プロデューサーとしても注目される存在。第一線で活躍中の「太メン」男声オペラ歌手4人とのユニット、IL DEVU (イル・デーヴ) のピアノ・メンバー。2019年1月3日のNHKニューイヤーオペラコンサートに、そのIL DEVUの一員として出演する。
国立音楽大学卒業、同大学院修了。
国立音楽大学及び大学院准教授、新国立劇場オペラ研修所音楽主任講師。
IL DEVU公式ブログ <http://ameblo.jp/devudivo/>

京 酢
千鳥酢®

加茂川や
流るる
すむ

村山造酢株式会社
東山区三条大橋東3-2
TEL.075-761-3151
<http://www.chidorisu.co.jp>